

Traders Wisdom

COMMODITY MARKET

Weekly chart

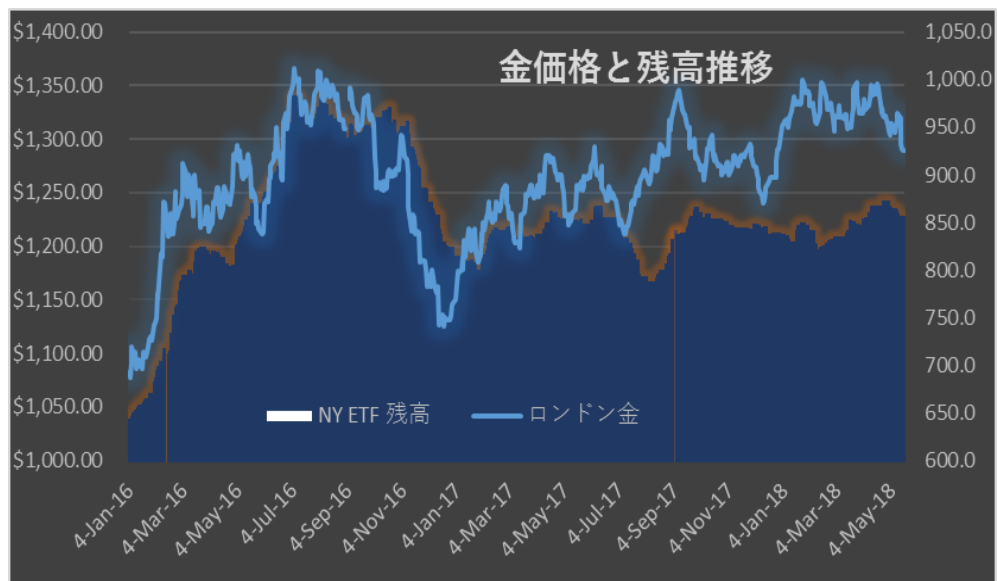


<https://www.tradingview.com/x/1aZE1twV/>

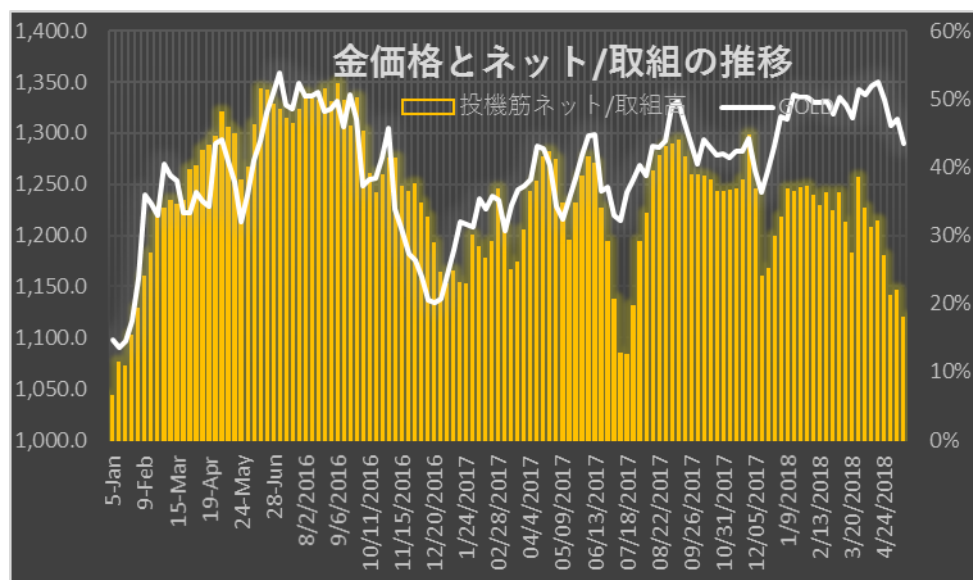
CFTC 建玉とトレーダー動向

(出所:CFTC)		総取組高	大口投機筋/Non-commercial				小口投機筋/Non-Reportable			投機筋	Traders		
			ロング	ショート	ネット	S P D	ロング	ショート	ネット		ロング	ショート	ネット
NY金	5月15日	519,958	201,468	109,025	92,443	65,319	57,246	31,600	25,646	118,089	193	84	109
NY原油	5月15日	2,706,454	772,511	128,067	644,444	933,001	117,996	88,065	29,931	674,375	200	87	113
NYガソリン	5月15日	477,684	191,041	95,122	95,919	75,490	182,157	290,609	-108,452	-12,533	120	52	100
NY灯油	5月15日	448,472	132,922	90,852	42,070	89,856	48,457	28,708	19,749	61,819	83	39	44
シカゴ・小麦	5月15日	470,717	165,447	142,803	22,644	103,548	29,812	40,928	-11,116	11,528	120	127	-7
シカゴ・とうもろこし	5月15日	1,831,023	618,180	223,870	394,310	320,972	151,165	234,061	-82,896	311,414	232	149	83
シカゴ・大豆	5月15日	878,836	245,199	89,551	155,648	125,751	49,848	102,134	-52,286	103,362	190	143	47
NY金	前週比	28,560	2,920	17,917	-14,997	7,706	3,595	5,493	-1,898	-16,895	6	1	5
NY原油	前週比	48,225	-32,295	3,189	-35,484	46,849	7,205	-4,314	11,519	-23,965	11	5	6
NYガソリン	前週比	8,969	10,248	-918	11,166	389	-3,364	10,583	-13,947	-2,781	2	5	-1
NY灯油	前週比	24,896	7,104	-2,506	9,610	8,321	-1,003	824	-1,827	7,783	8	-4	12
シカゴ・小麦	前週比	1,638	-490	8,369	-8,859	-4,921	91	-207	298	-8,561	3	0	3
シカゴ・とうもろこし	前週比	38,219	-5,516	12,327	-17,843	22,358	9,007	5,486	3,521	-14,322	-7	0	-7
シカゴ・大豆	前週比	26,785	-2,486	14,513	-16,999	11,873	-276	-3,669	3,393	-13,606	-2	4	-6

金：「短期は損切り、長期は傍観」



左軸：金価格（オンス）、右軸：NY ETF 保有高（トン）



グラフ）金価格と CFTC 投機筋ネット/総取組高の推移



金価格：CFTC リリース週の値動き <https://www.tradingview.com/x/Lo37vuS7/>

今週のゴールドは、終盤にかけてリスク回避の色を強めた先週の動きから一転、米長期金利の上昇を嫌気した投機筋の売りに押されに大きく値を崩す事となりました。

今週のETFとCOTレポートを確認しましょう。

まずNY金ETFは、COTリリース週の残高が前比-8トン、1週間の変化は、-2.3トンになっています。

以下、COTレポート。

		大口投機筋/Non-commercial				小口投機筋/Non-Reportable				投機筋	Traders		
(出所:CFTC)		OPNE INT	LONG	SHORT	NET	S P D	LONG	SHORT	NET	TOTAL	LONG	SHORT	NET
NY GOLD	5月15日	519,958	201,468	109,025	92,443	65,319	57,246	31,600	25,646	118,089	193	84	109
NY GOLD	PERV	28,560	2,920	17,917	-14,997	7,706	3,595	5,493	-1,898	-16,895	6	1	5

今週の COT レポートは、約 1288-1326 ドルのレンジで投機筋のネットロングが 14997 枚減となっており、いよいよ 10 万枚の水準を割り込む事となりました。

前回の 10 万台割れは 2017 年の 7 月と言う事で、タイミング的には同じような時期となっていますが、前回は 10 万割れを底として、後 150 ドル程の上昇を演じています。直近の金市場では、投機筋のロングが一定の水準を割り込むと買い意欲を誘う傾向にあります。前回のレポートでも「一段高を追求するには新規マネーの流入とプレイヤーの増加が必要であり、注目していた今週の数字（市場参加者等）が落ち込んでいた事から、少々頭の重さも感じてしまいます。」と述べられている通り、“今”は、本腰のロングは様子見、あくまで、大きく割安になったタイミングのみ「拾う」イメージになります。

一方、金市場内部の“「金 ETF 残高の水準は変わらずという事で、先高観はさておき、「買い安心感」に変化はない”サポート要因は、2 カ月連続増となった 4 月米小売売上高を背景に、6 月の利上げを確信したプレイヤー達のドル買い、そして米長期金利の上昇、最後に米長短イールドの上昇を前に、投機筋の損切りと共に木っ端微塵に打ち碎かれる事になりました。

参加者のリアクションですが、中長期目線の金 ETF の運用者、そして「必要性重視」（ヘッジ目的）のファンドマネージャー達は良くも悪くも「傍観」、一方で、内部要因を手掛かりにロング保有した投機筋連中にとっては時間（保有期間）×資金量のバランスを考えた結果、「損切りー手仕舞いー撤退」が最善の策と考えた面もあるのでしょう。

ポイントを確認しておきましょう。

① 内部要因

ゴールド単体の内部要因は「買い」で変化無し、一方で、米長期金利×ドルインデックスの上昇基調にも変化無し、で強弱要因の綱引きとなっています。

但し、冷静に考えればわかる事です、どちらが市場を支配しているかと言えば、答えは 100%後者であり、一年前を起点として「米長期金利-ドルインデックス-ゴールドの」立ち位置と関係を精査すると、ゴールドには再び 1240 ドル台を試す可能性も残されています

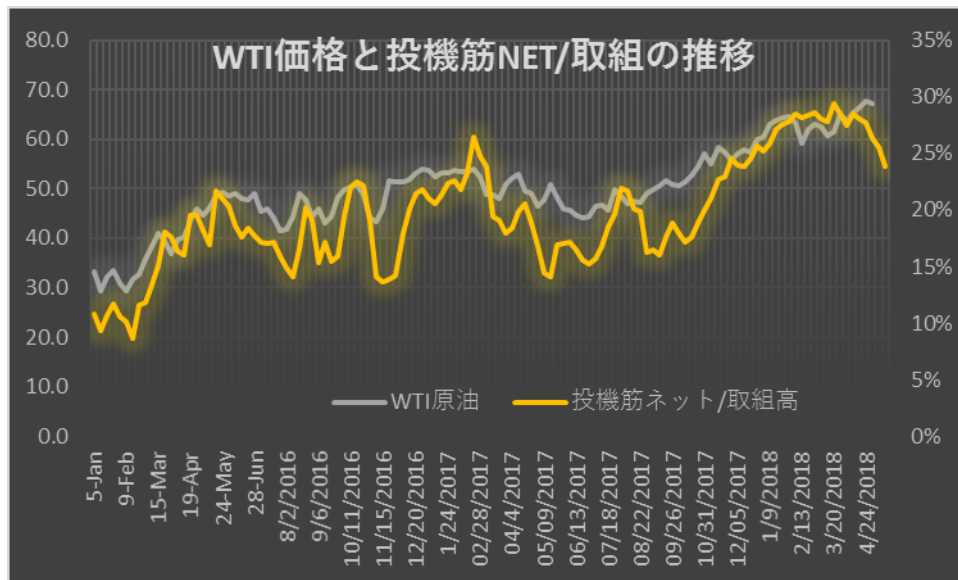
「テクニカル的な押し目買い⇒すかさず売り手仕舞い」は勿論可能ですが、本腰の買いは冷静に見極めましょう。

② テクニカル

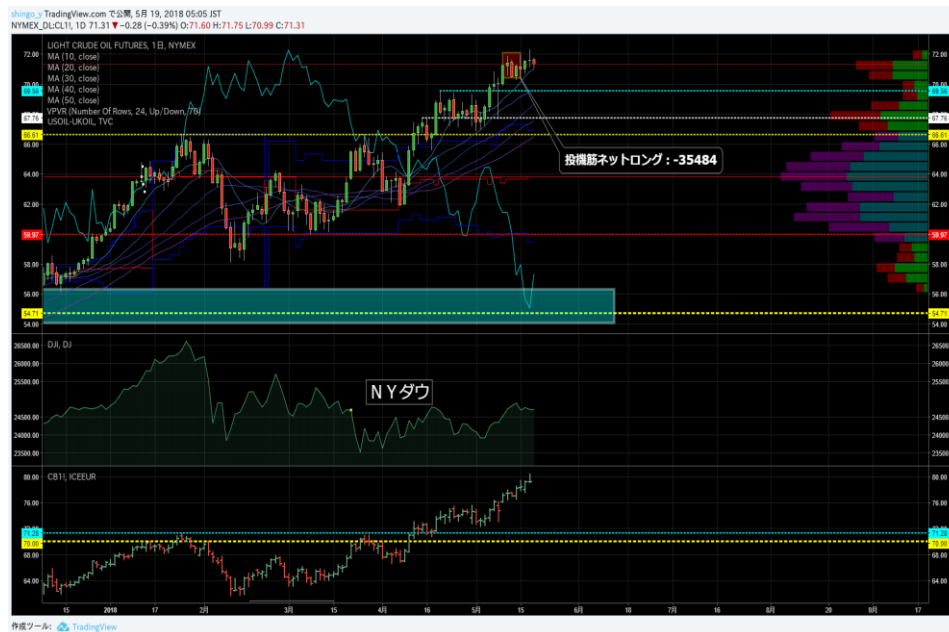
次のサポートは 1236 ドルまで無し。ポイントは、1300 ドルへのリバウンドから 1285 への戻しが見られた場合、出来高の増減は特に注視しておきましょう。

原油

「短期筋の動き」



上図グラフ) WTI 価格と CFTC 投機筋ネット/総取組高の推移



WTI 原油：CFTC リリース週の値動き <https://www.tradingview.com/x/nHISjNR/>

今週の WTI 原油は、直近のワンサイドの上昇相場から一服、緩やかなペースで値を刻みながらの上伸となりました。

今週の COT レポートを確認しましょう。

		大口投機筋/Non-commercial				小口投機筋/Non-Reportable				投機筋	Traders		
(出所:CFTC)		総取組高	ロング	ショート	ネット	SPD	ロング	ショート	ネット	全ネット	ロング	ショート	ネット
NY原油	5月15日	2,706,454	772,511	128,067	644,444	933,001	117,996	88,065	29,931	674,375	200	87	113
NY原油	前週比	48,225	-32,295	3,189	-35,484	46,849	7,205	-4,314	11,519	-23,965	11	5	6

今週の投機筋ポジションは、約 69.85-71.89 ドルのレンジでロングが減少（手仕舞い）しています。4 月中旬以降、買玉の整理（手仕舞い）と若干の売り新規の流れが続く中、スプレッドポジションの増加も目に付きますね。

朝のコメントでも、「ファンドがロングのポジションを減らしたのは、イコールで「撤退」と解釈する事はできず、スプレッドのロング戦略などにスイッチした可能性もある事から、ロング減を安易な売り材料にする事は避けた方がいい」と述べていますが、ブルはブルでもより慎重なスタンス、且つ気配を消す事で足跡を残さないスタイルで市場に参加する動きもあります。

堅実かつ賢明な判断とも言えますね。

さて、先週はイラン核合意の結果を受け、「噂で買って、事実で買い増し」したマーケットのリアクションから、改めて新規マネーの底力を感じた一週間でしたが、今週は、原油市場全体を包み込む高値水準を意識した売り、そしてテクニカルと外部要因重視の無邪気な新規買いが拮抗する展開となりました。

しかし、価格動向と勢力の推移は後者に分があり、日中拮抗しつつも、マーケットがクローズする段階では、きっちりインチ刻みで価格を切り上げる一週間となっており、僅かな価格推移の中にも、大きな力の差を感じた一週間でした。

ポイントを少し確認しておきましょう。

① 内外部-テクニカル要因

ブレントの 80.00 ドル前後の動きが次週の焦点になりますが、市場環境は上述の通り買い方の勢いが勝っています。原油市場全体を通して投機筋がロングを減少させているのは事実であり、「投機玉の（ロングの）吐き出し」で価格が沈むケースを期待する向きも多いですが、現在のマーケットには“それら吐き出し”を呑み込めるだけの受け皿があるため、安易に便乗する事は避けた方が良いでしょう。スプレッドの売り然り、ベストなタイミングと値位置を見極める事が肝要です。

FOREX MARKET

Weekly chart

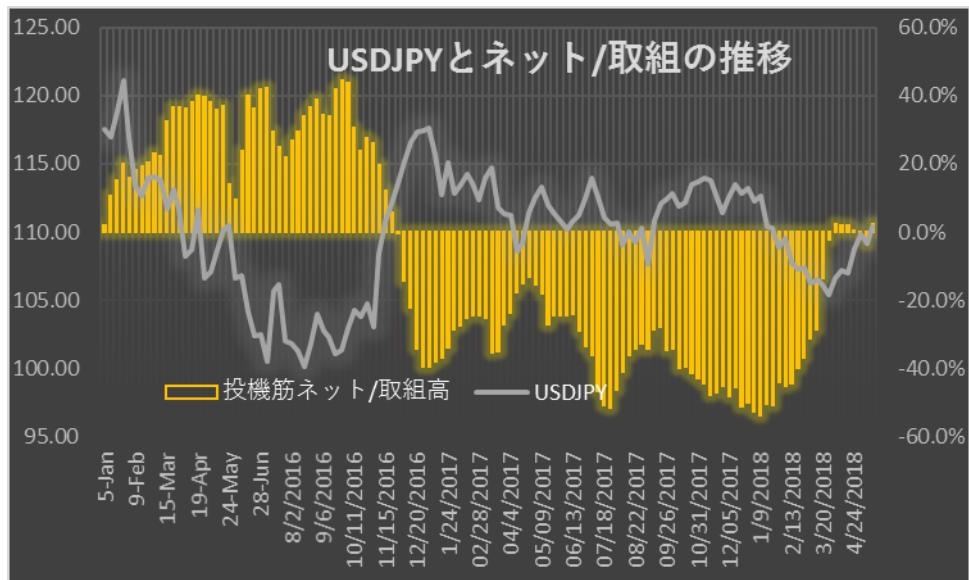
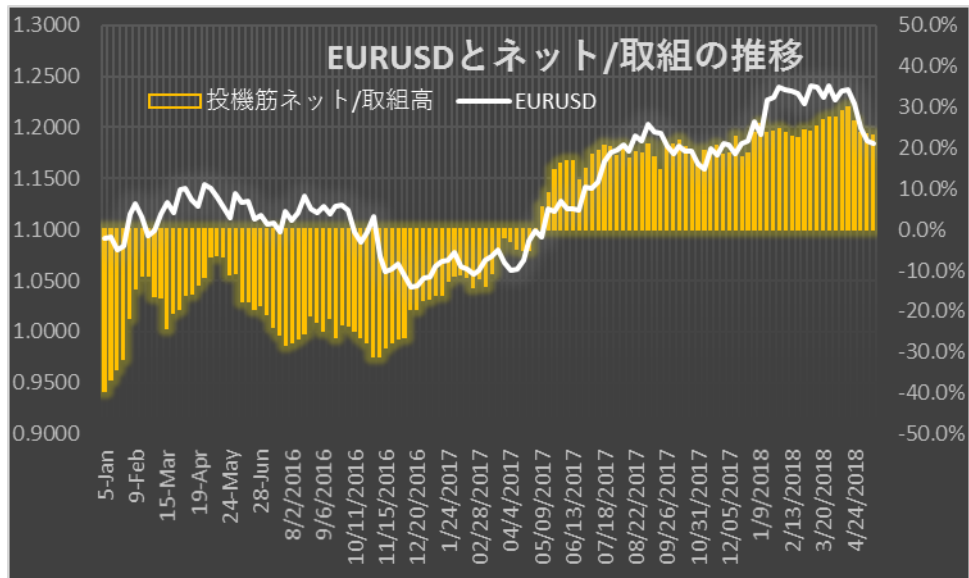


<https://www.tradingview.com/x/L4LpTAAF/>

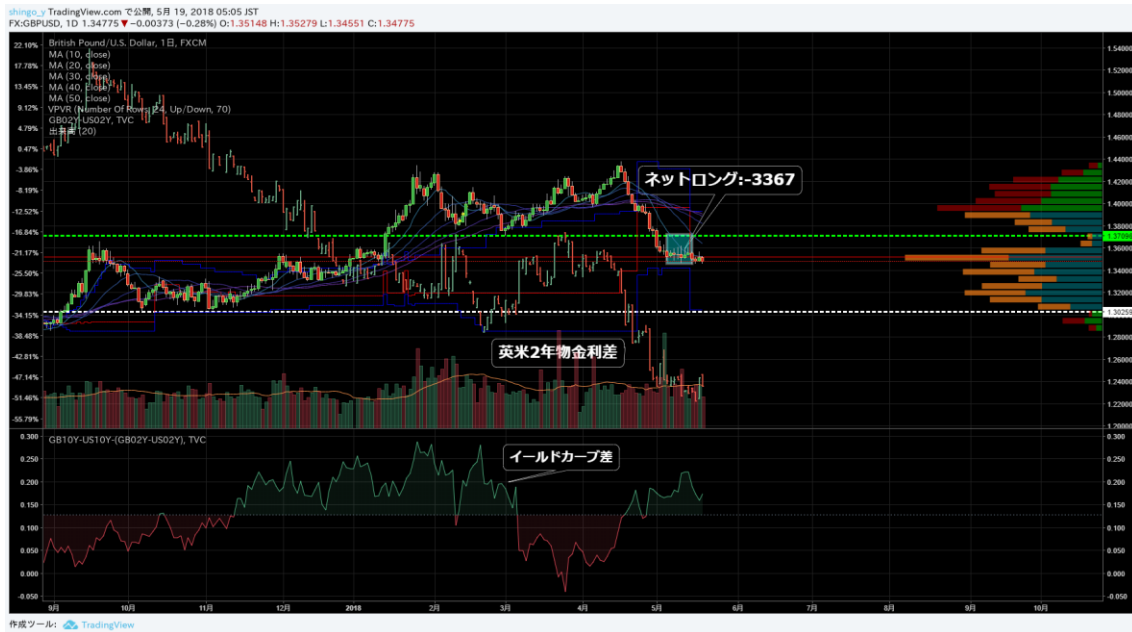
CFTC 建玉とトレーダー動向

(出所:CFTC)		総取組高	大口投機筋/Non-commercial				小口投機筋/Non-Reportable				投機筋			Traders		
			ロング	ショート	ネット	SPD	ロング	ショート	ネット	全ネット	ロング	ショート	ネット	ロング	ショート	ネット
GBPUSD	5月15日	190,648	61,361	55,740	5,621	7,943	30,274	30,851	-577	5,044	39	32	7			
JPYUSD	5月15日	163,411	64,926	61,246	3,680	3,457	25,970	33,125	-7,155	-3,475	34	37	-3			
EURUSD	5月15日	505,114	219,317	104,203	115,114	12,321	72,154	58,325	13,829	128,943	99	58	41			
BITCOIN	5月15日	6,048	3,152	5,026	-1,874	360	2,536	662	1,874	0	29	25	8			
GBPUSD	前週比	1,846	-833	2,534	-3,367	-1,251	-2,274	-305	-1,969	-5,336	0	-1	1			
JPYUSD	前週比	5,835	13,114	3,972	9,142	-320	-1,188	2,684	-3,872	5,270	-1	4	-5			
EURUSD	前週比	-10,018	-7,284	-1,893	-5,391	657	-3,181	3,654	-6,835	-12,226	-1	-7	6			
BITCOIN	前週比	-247	-479	-240	-239	4	228	-11	239	0	-9	6	1			

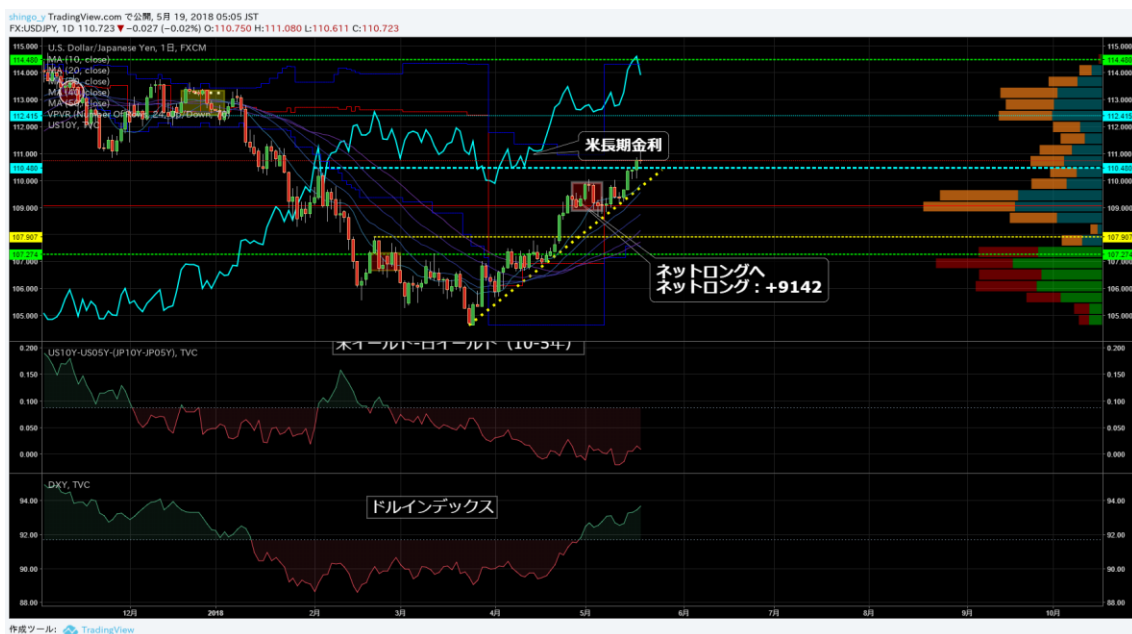
為替：「資源国通貨と原油」



グラフ) EURUSD+USDJPY と CFTC 投機筋ネット/総取組高の推移



<https://www.tradingview.com/x/lkSQW6RO/>

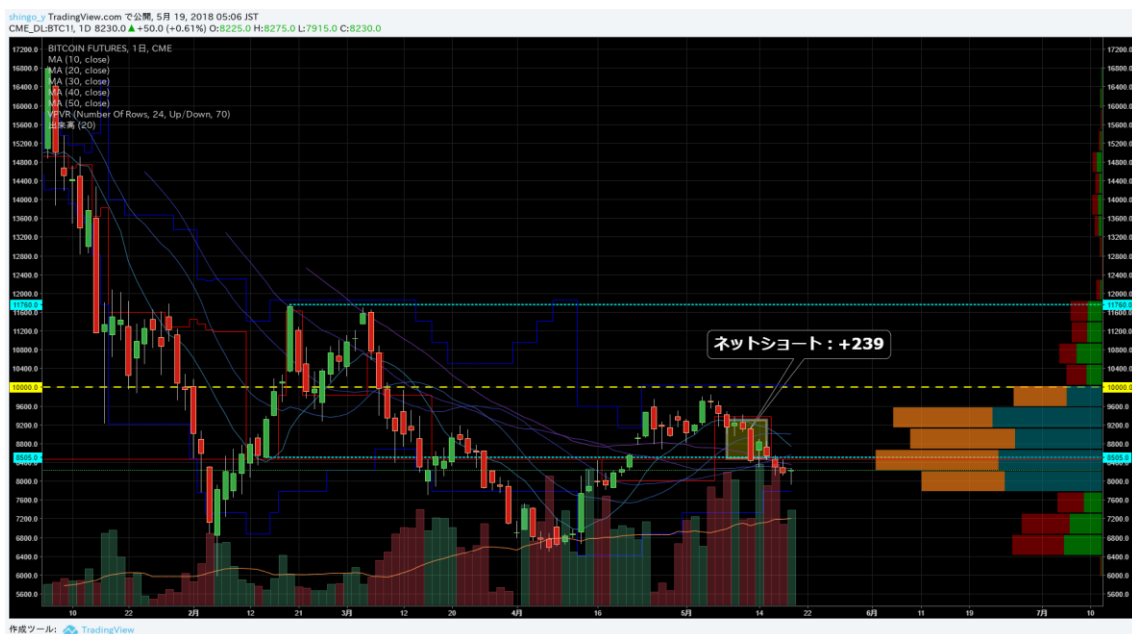


<https://www.tradingview.com/x/V7tK5aDX/>

ポンドと円：CFTC リリース週の値動き



<https://www.tradingview.com/x/u0KfsLQQ/>



<https://www.tradingview.com/x/m2MIQiOn/>

EURUSD/BTCUSD

今週の為替市場は、ドルー強の流れが一服した先週から一転、再びドルが殆どの主要通貨に対して巻き返す一週間となりました。

今週の COT レポートを見てみましょう。

		大口投機筋/Non-commercial				小口投機筋/Non-Reportable				投機筋	Traders		
(出所:CFTC)		総取組高	ロング	ショート	ネット	SPD	ロング	ショート	ネット	全ネット	ロング	ショート	ネット
GBPUSD	5月15日	190,648	61,361	55,740	5,621	7,943	30,274	30,851	-577	5,044	39	32	7
JPYUSD	5月15日	163,411	64,926	61,246	3,680	3,457	25,970	33,125	-7,155	-3,475	34	37	-3
EURUSD	5月15日	505,114	219,317	104,203	115,114	12,321	72,154	58,325	13,829	128,943	99	58	41
BITCOIN	5月15日	6,048	3,152	5,026	-1,874	360	2,536	662	1,874	0	29	25	8
GBPUSD	前週比	1,846	-833	2,534	-3,367	-1,251	-2,274	-305	-1,969	-5,336	0	-1	1
JPYUSD	前週比	5,835	13,114	3,972	9,142	-320	-1,188	2,684	-3,872	5,270	-1	4	-5
EURUSD	前週比	-10,018	-7,284	-1,893	-5,391	657	-3,181	3,654	-6,835	-12,226	-1	-7	6
BITCOIN	前週比	-247	-479	-240	-239	4	228	-11	239	0	-9	6	1

今週の投機筋ポジションは、欧州通貨のロング減の傾向に変化が無い中、いよいよポンドが売り買い“トントン”のレベルに近づきました。4月中旬にダブルトップを付けて以降、投機筋のロング手仕舞いが続いています。直近サポートの 1.345 のライン上では小刻みな調整が続いており、ネットベースでショートに傾くか否かは、上記ライン上（1.345）の攻防で決まりそうですね。

ところで、チャートで見るポンドとユーロ、そしてゴールドの形はとても似ていますね。
ドルインデックスの構成比率等考えれば、当たり前と言えば当たり前なのですが・・・ただ、次の目的地までの値幅や、到達するまでの時間等を計算する上で十分すぎる程の情報が詰まっていますね。

さて、今週はタイトルにも有る通り、少しだけ資源国通貨と原油の動向も確認しておきましょう。“原油市場”が上半期で最もホットな銘柄の一つである事から、「CAD との連動性/相関性はどの様な感じでしょうか？」という質問も寄せられます。

やはり、ポイントとしては其々のバックボーンや、“今”最も影響力のある外部要因を適切に分析する必要があり、例えば、CADUSD は利回り格差（米加の強力な経済的結びつきが最大の裏付けである事がポイント）、WTI 原油はブレント原油とのスプレッド差（“今”最も影響力があるのはブレントであり、WTI はフォローせざるを得ない）が重要な視点であり、それぞれをアウトライトするにしても、裁定取引するにしても、しっかりと要因に対する各市場の足元（値位置）を確認してあげる必要がありますね。

以下チャートは参考程度に確認しておいてください。



<https://www.tradingview.com/x/VZdRzCJh/>



<https://www.tradingview.com/x/jAXT8v02/>

INDEX&BOND MARKET

Weekly chart



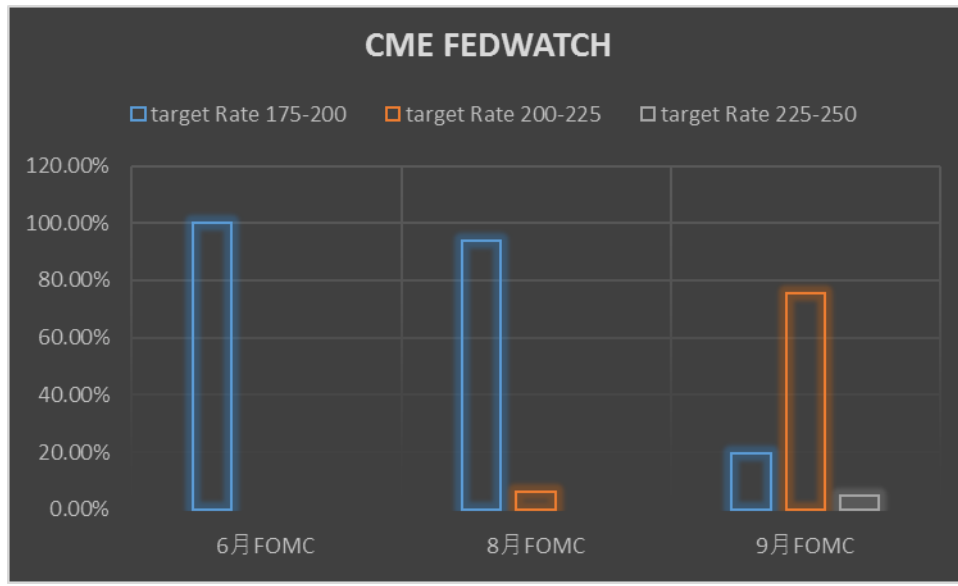
<https://www.tradingview.com/x/Xd1fbFMy/>

CFTC 建玉とトレーダー動向

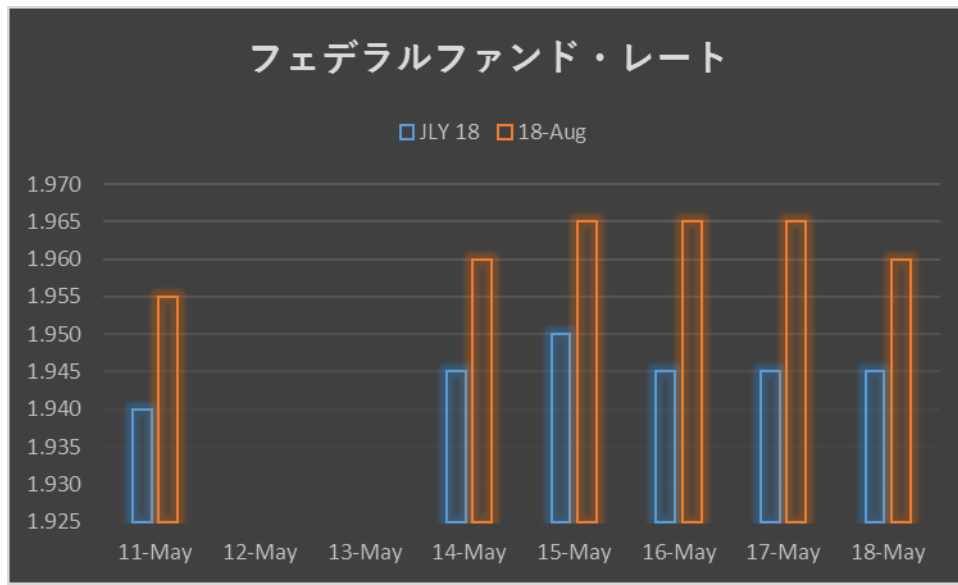
			大口投機筋/Non-commercial				小口投機筋/Non-Reportable			投機筋	Traders		
(出所:CFTC)		総取組高	ロング	ショート	ネット	SPD	ロング	ショート	ネット	全ネット	ロング	ショート	ネット
米10年債	5月15日	3,862,526	706,685	1,088,607	-381,922	173,477	379,743	614,804	-235,061	-616,983	79	110	-31
E-MINI S&P500	5月15日	3,055,622	532,588	333,783	198,805	108,278	548,920	236,352	312,568	511,373	147	108	39
米10年債	前週比	109,886	9,007	-17,700	26,707	27,460	32,204	36,042	-3,838	22,869	11	-11	22
E-MINI S&P500	前週比	66,218	-1,926	-38,376	36,450	20,552	16,736	6,817	9,919	46,369	10	-3	13

金利動向

「噛み合う歯車」



次回 FOMC の政策金利予想



※ F F 金利先物 一週間の推移（左から右へ）

2.957%から動き出しのタイミングを計っていた米長期金利ですが、2 カ月連続増となった米 4 月小売売上高を背景に、6 月の利上げ（と 2018 年残り計 3 回の利上げの期待）を確信し

たプレーヤー達のドル買いと共に、節目となる 3.036%を楽々“こなし”、2011 年来の水準に達する事となりました。

最終金曜日には若干失速したものの、節目の 3.036 台はキープ、またドルインデックスも年初来の高値を維持したまま終了しています。

次週は、23 日に FOMC 議事要旨を控えているため、新たな動きが見られるとすれば、木曜日のアジア時間になりそうですね。

ドル円も、111 円をタッチした後は利確に押されたものの、上昇基調自体には変化無く、段階的に 115 円を目指す予想も増え始めています。

勿論、リスク回避の二番手である以上、中東や朝鮮半島のリスク回避の円買いを想定しておく必要もあり、ドル円が押し目を付けるタイミングと合わせ、節目では円が買われる動きには注意が必要ですね。

さて、ゴールド-米長期金利-ドルインデックスの動向ですが、今週の動きだけを抜き取ると、変動率等も違和感なく連動していますが、ゴールドのセクションで言及された通り、中期スパンで見るとゴールド単体での下落余地が残されています。

現状、1290 ドルで頑張って綱渡りをしています、下値は余裕をもって見ておきましょう。

以下、ゴールド+米長期金利+ドルインデックスの立ち位置の確認



<https://www.tradingview.com/x/n1KdSTDm/>

—このレポートに関しまして—

当レポートの著作権はすべてバーグインベスト株式会社（Burginvest Co.,Ltd.）に帰属し、「プロップ・ラボ」外への転載および無断引用は固くお断り致します。

また当レポートは、会員個人のみが閲覧いただけ、法人内・コミュニティ外での閲覧・シェアは固くお断りしております。（後日、閲覧人数分の料金を申し受けます）。無断の転載などを見つけた場合、著作権者までご連絡ください。

また、このレポートは、市場の研究とその情報の提供を目的としたものです。投資方針や時期選択等の最終判断はご自身で判断されま
すようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、バーグインベスト株式会社は一切
の責任を負いかねますことをご了承願います。

ご理解をいただきまして、ありがとうございます。